

鹿児島県立指宿養護学校だより

いぶよう

平成28年7月8日発行



児童生徒作品紹介
小学部2年1組
学級合同作品
「つゆ」

～時分の花を咲かせてほしい～

校長 猿渡努

創立42年目を迎えた今年、児童生徒数59名という過去最高の在籍数で始まりました。4月当初、初めての学校生活や新しい学部での活動に戸惑いを見せていた各学部の1年生も運動会、勤労体験学習、校内実習と様々な活動を経験する中で一日一日、成長してきました。

そして、梅雨が明け、楽しみな夏休みを控えた今、59名の児童生徒が日々、豊かな感性のもとに可能性を広げています。毎日、体力作りに懸命に努力する生徒、生徒会活動で朝のあいさつ運動に率先して取り組んでいる生徒、毎日、昼休みに高等部や中学部の先輩に負けじとサッカーに取り組む児童などみんな生き生きと活動しています。

演舞の世界に「時分の花を咲かせ続けろ」という格言があるそうです。演舞の世界では、若いときの華やかな演技、年をとってきたときの味わいのある演技、その時、その時の自分が出せる精一杯の演技を続けること、つまり「時分の花」を咲かせ続けることがいつしか「自分の花」を咲かせることにつながるという芸の教えがあるそうです。

本校に学ぶ児童生徒、その一人一人が毎日、精一杯活動して、時には、泣いたり、笑ったりしながら、輝いています。今年は、学校の指導テーマの重点として「自分から主体的に活動できる力」を伸ばすことを主眼に指導に取り組んでいます。

児童生徒一人一人が今のよさを大切に「時分の花」を咲かせ続け、大きな「自分の花」を咲かせてくれることを願いつつ、本年度も職員一丸となって教育活動に取り組んでいきたいと思えます。

今年度も本校の教育活動への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

一日遠足

4月28日（木）にかいもん山麓ふれあい公園で全校児童生徒の一日遠足がありました。午前中、お楽しみ交流会（生徒会役員の司会進行）があり、新入生や転入生の自己紹介やレクリエーションをしました。笑顔があふれる楽しい時間を過ごすことができました。お弁当をみんなで楽しく食べた後は、小雨も止み太陽も出てきた外の広場でサッカーをしたり、遊具で遊んだりして過ごしました。楽しく思い出に残る一日となりました。



運動会

5月21日（土）に第42回運動会が開催されました。保護者や卒業生、ボランティアの方からの温かい御声援をいただきながら、短距離走、学部種目、応援合戦、赤白対抗リレー等、日頃の学習の成果を発揮して、児童生徒全員が一生懸命競い合い、運動することを楽しみました。閉会式の成績発表では、自分の組の勝敗に涙する姿も見られました。例年はないほど天気にも恵まれ、一人一人が思い出に残る運動会になりました。



自立活動の取り組み

○外部専門家との連携指導（年間5回程度）

地域の生活支援センターの事業と連携して、言語聴覚士（ST）、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、歯科衛生士（DH）などの外部専門家を招いて、連携指導を行い、自立活動の指導の充実に向けて取り組んでいます。



《ST連携指導》



《PT連携指導》



○リハビリテーション研修

リハビリを行っている医療機関、主治医との連携を図りながら日々の指導の充実に向け、リハビリ先の医療機関を訪問し研修を行っています。

小学部

今年度、小学部は新入生7人、転入生2人を迎え、1年生7人、2年生3人、3年生5人、4年生4人、5年生3人、6年生4人の計26人でスタートしました。今では、新入生もすっかり学校に慣れ、毎朝笑顔で登校しています。小学部では、「意欲的に学ぶ態度」「丈夫な体」「人と豊かに関わる力」を育てることを目標に掲げ、毎日の学習に取り組んでいます。児童一人一人の課題に応じた、国語や算数など教科別の学習や自立活動、生活上の課題解決に向けた生活単元学習など、成就感や満足感を味わいながら一人でもできることを増やせるよう、保護者の皆様のほか、関係機関とも連携して取り組んでいます。



中学部

今年度の中学部は、小学校から1名、本校小学部から1名、計2名の新入生を迎え、2年生6名、3年生4名、合計12名で元気にスタートしています。全学年が一緒になって学習する作業学習や生活単元学習、音楽、体育など集団の中で助け合ったり協力し合ったりすることができるような学習や国語、数学などグループ別編成で個別の課題にじっくり取り組んだりする学習などを展開しています。また、働くことの大切さや喜びを感じたり、仕事に対する意識や働く意欲を高めるため、作業学習を中心に校内実習や職場体験学習などの進路指導の充実にも努めています。



高等部

高等部が開設されて8年目の今年度は、5人の新入生を迎え21人でスタートとしました。一学期を共に過ごすなかで生徒同士の関係が深まり、友達や集団を意識して協力して取り組む様子が見られるようになりました。高等部では「ステキな社会人！」を合い言葉に、一人一人の進路や卒業後の生活を意識して学習に取り組むようにしています。生徒をはじめ保護者と十分な話し合いを行い、外部関係機関とも連携を図りながら、生徒一人一人が自分のよさや興味・関心を生かして主体的に取り組むようにしています。

